

(平成20年度実施事業)

# 事業評価表

事業CD. 0110102 - 23000

京 都 府 南 丹 市

作成日: 平成21年05月12日

事業名	青少年バス運行事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体	教育委員会 社会教育課 担当: 岩崎 志保
事業区分	事業分類: (B)ソフト事業    政策体系CD: 122 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	関連法令・条例等	<input type="checkbox"/> その他 ( )	

## 【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け  
 青少年バスの利用により、独自で交通手段を持たない利用者が青少年活動や学校関連事業、クラブの試合等で出かける際の交通手段の確保ができる。安全な輸送により潤滑な事業が行える。
- ②事業を実施する必要性  
 利用者が負担すべきバス賃借料の軽減が図れる。特に中学校ではクラブにおける試合等で京都府内の遠方まで出向くことも多く、市の予算とあわせてバス利用料を保護者負担に頼っている。加入しているクラブにより試合数も変わるため保護者負担のバラつきも解消できる。
- ③未実施事項  
 21年度は市の公用車として扱うため青少年活動に使用するという規制が無くなることや府外への利用も可能となり、利便性が向上する可能性あり。

## 【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円		1,300	1,232	1,630	1,630
うち一般職、嘱託職、臨時職給与および共済費等	千円		791	624	974	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	0	0
	国・府支出金	千円		0	0	0
	地方債	千円		0	0	0
	一般財源	千円		1,300	1,232	1,630
職員等従事人員	人/年	—	—	1.06		
人件費	千円	—	—	2,508		
事業費総額	千円	—	—	3,116		

## 【主な支出の内訳】

運転手賃金 624,400円 (報償費)

## 【近隣市町村の取り組み状況】

20年度、京都府内では八幡市がバスを保有していた

## 【前年度の評価を受けて改善した点等】

## 【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
 利用者が使いやすいよう運転手と安全性を考慮し、綿密な連携を図る。
- ②当該事業のアピール事項  
 学校関連の行事やクラブ等で活発に利用することにより、バス賃借料の軽減が図れる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
 公用車扱いとなるため規制が緩和され、効率よく使用できる(学校教育課管轄)

# 事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	122	事業名	青少年バス運行事業		
事業CD.	110102-23000	細事業名			
所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当	岩嵜 志保

110102-23000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
送迎	社会教育課 関連 なんたんわくわくきっず参加者送迎 他	20回	
	中学校 クラブ試合送迎	39回	
	小学校 社会科見学等送迎	50回	
	保育所 遠足等送迎	13回	
	その他 スポーツ少年団等送迎	13回	
備品購入	社団法人青少年育成国民会議より払い下げ 施設管理費 体育施設備品購入費より支出	平成21年3月	市公用車となる（教育委員会学校教育課管轄）